

ハコの技術 ～ハコってなんで必要なの？～

●商品を保護するため

ハコの重要な役割の一つが「商品を保護する」ことです。どんな種類のハコがあるんだろう？

●物流や収納を効率化するため

ハコには物量をコンパクトにする役目と数量をわかりやすく区分けする役目があります。上手にハコに入れてみよう！

●お客様の目を引くため

ハコは商品がお客様に届く前、最後にご挨拶をするアイテムです。綺麗なハコがたくさんあります！



ボードで詳しく説明し、実際にハコの違いも体験していただけます。最新技術やニュースも紹介予定です。

ワークショップ ～ハコづくり体験～

『ハコ、つくろ！』

自分たちで糊をつけたり、絵を書いたりして上手に貼箱(はりばこ)を作ってみませんか？箱作りの先生が優しく教えてくれます。

- 定員1回につき10名(先着順。小学生以上。※小学生以下のお子様は保護者同伴でご参加下さい)
- 参加費 無料(出来上がった箱はお持ち帰りください)



計3回

計4回

時間 11月17日(金) 1回目 13:00～ 2回目 14:00～ 3回目 15:00～ 11月18日(土) 1回目 11:00～ 2回目 13:00～ 3回目 14:00～ 4回目 15:00～

ハコの展示 ～組合員企業の自慢の製品～

組合員企業が自慢する、さまざまな紙器・パッケージや、そこに使われている技術を展示します。ビジネスのヒントがいっぱい見られます。

セミナー(会場: 第三会議室) 各定員50名

セミナーのご参加は無料ですが登録制となっています。右記のサイトから登録フォームにてご登録をお願いします。また、定員は50名で先着順とさせていただきますので、定員を超えてのお申し込み、又は当日お申し込みの場合は、ご着席出来ない場合がありますのでご了承下さい。

参加無料
登録制



セミナー参加登録フォーム URL

<https://www.directform.info/form/f.do?id=4375>

●11月17日(金)
14:00～16:00

福永紙工(株)

代表取締役 山田 明良 氏



「小さな紙器加工所のデザインプロジェクト」

常識に捕らわれない発想が企業を変える！紙製品の自社プロジェクト「かみの workshop」「テラダモケイ」「空気器」などの商品を開発し、世界中の美術館のミュージアムショップやデザインショップなどで販売。今や福永紙工の取組みは多くのメディアでも取り上げられているほど注目されています。今回のセミナーでは従来の印刷紙器業界の常識に捕らわれない、発想の転換が生み出した「デザインプロジェクト」発足の経緯や紙の可能性を追求する福永紙工の「今」をお伝えします。



1/100建築模型用添景シリーズ「りんご狩り編」建築家 寺田尚樹氏との協働プロジェクト「テラダモケイ」精工な模型作品やテラダモケイを使用した映像作品も有名



「空気器」シリーズ世界中のミュージアムショップでも取り扱われる「かみの workshop」プロジェクトの代表作品デザインはトラフ建築設計事務所

●11月18日(土)
13:00～15:00

MASAMI DESIGN

高橋 正実 氏



「パッケージデザイン」

紙器には様々なデザインがあります。用途に合わせた形状のデザインやグラフィックデザイン、商品を届ける意味での広告的なデザイン、そしてブランディングツールや企業のアイデンティティーとしてのデザインまで。パッケージデザインは立体でもあり、平面の意識もあり、構造もあり、戦略的な考え方もあり、と様々な用途が組み込まれ、その形となっています。紙器はデザインと出逢い、この日本は世界で最も様々なものが数多く登場し、そして様々な機能を持ち、多くの人をワクワクと楽しませて来てくれました。この度パッケージデザインについて、そしてその可能性についてお話し致します。



「Francfrancパッケージ」(2002年)クライアント:株式会社Francfranc 2003年NYADC(ニューヨークADC)特別優秀賞受賞 日本パッケージデザイン大賞銀賞受賞



「東京スカイツリーエレベーター」コンセプト・デザイン・監修(2012年)クライアント:東武タワースカイツリー株式会社